

一問一答・質問要旨	備考
<p>【1】 2番 楚山 伸二 議員 1 小諸市の危機管理対応について (1) 災害時の情報提供の在り方について ① 市のホームページの掲載内容や表示方法は、必要な情報を住民が利用アクセスしやすく、分かりやすく分類され、かつ「後日検証」できるようなものになっているか(パネル使用) ② 災害時は「定期的な情報更新」を視覚的に分かりやすく発信し、特に「今後の見通し」に関する必要十分な情報提供が、住民への「安心」の判断材料として非常に重要だと思うがどうか(パネル使用) ③ 警戒レベルの表示が変わったが、緊急災害時は「文字」や「色分け」だけでは分かりづらい。震度のように「数字」を前面に出すべきではないか (2) 新型コロナワクチン接種事業について(パネル使用) ① 「小諸方式」について、現時点でどう評価しているか (3) 国の緊急対策に対応する通学路の安全確保のための総点検について ① これまで学校や地域から出ている「通学路の改善要望等」の状況はどうか ② 国の緊急対策の対象となる箇所は、市内でどの程度の数になり、対象箇所の整備を実施するための予算措置はどうなっているか</p>	<p>40分</p>
<p>【2】 3番 高橋 公 議員 1 「小諸アグリシフト」について (1) 「小諸アグリシフト」の概要について ① この事業の概要と、始めた背景・目的と投じた事業費はどうか ② 小諸市の農の魅力のデータ化はできているか、また事業の主体はどこか ③ 「小諸アグリシフト」では市民とどのように協働していくのか (2) 「小諸アグリシフト」の今後の取組について ① 今後の展開方法と、それに対する懸案はどうか 2 長野県、農政部関係の農業施策について (1) 長野県、農政部関係の施策・計画について ① 長野県(農水省)の補助事業のどの部分を小諸市が担っているのか ② 小諸市民(農家)にはどのように県の補助事業をPR(紹介)しているか ③ 小諸市民(農家)が初めて県の補助事業に臨む場合、どう支援するか</p>	<p>40分</p>
<p>【3】 17番 田中 寿光 議員 1 予算の繰越について (1) 令和2年度事故繰越について ① 農地農業用施設補助災害復旧事業における課題は何か ② 道路橋梁河川単独災害復旧事業における課題は何か 2 債権管理について (1) 市営住宅使用料の債権放棄について ① 市営住宅使用料の督促・必要な措置はどう行っているか ② 市営住宅使用料の徴収停止はどのように決定しているのか</p>	<p>40分</p>

一問一答・質問要旨	備考
<p>【4】 11番 竹内 健一 議員</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>(1) 爆発的感染拡大における佐久圏域医療体制について</p> <p>① 市内における感染状況はどうか</p> <p>② 感染者の搬送困難事案はあるか</p> <p>③ 自宅療養患者へのサポート体制は整っているか</p> <p>④ 酸素ステーションを医療機関と連携して設置できないか</p> <p>⑤ 妊婦感染の状況と対応策はどうか</p> <p>(2) 児童・生徒の対応について</p> <p>① 学校での集団感染を懸念するが、現状と対応策はどうか</p> <p>(3) コロナ禍における生活困窮者について</p> <p>① 実態をどう把握し、どのような対応をしているか</p>	40分
<p>【5】 4番 土屋 利江 議員</p> <p>1 自然環境の保護・保全活動について</p> <p>(1) 生物多様性の保全活動について</p> <p>① 市の保全活動は、浅間山麓地域の活動とどのように連携しているか</p> <p>② 絶滅危惧種のチョウ「アサマシジミ」の保護活動について推進していく考えはあるか(パネル使用)</p> <p>③ チョウの盗捕獲者が増えているため対策が必要ではないか</p> <p>④ 小諸市として自然環境保全条例を制定する考えはあるか</p> <p>⑤ 「チョウと花のまちづくり」として輪が広がっていることを受け、自然保護パークシティとしての取組はできないか(パネル使用)</p>	40分
<p>【6】 18番 福島 鶴子 議員</p> <p>1 長引くコロナ禍について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い方について</p> <p>① 「地方創生臨時交付金」の使途について、その「使い方」の指針をどのように設定したか</p> <p>② 令和2年度における「地方創生臨時交付金」の総額と決算結果を見た中で、その使途が指針に沿ったものになっていたと考えるか</p> <p>③ 支援等が十分でなかったと思われる部分について、今後どのように対応しようと考えているか</p> <p>④ 公平な使い方は原則だが、「公平」についてどのように考えているか</p> <p>(2) アフターコロナにおけるこもろ観光局との連携等について</p> <p>① コロナ禍中も続いた、こもろ観光局と連携した「観光振興事業」への投資はアフターコロナの観光振興にどう活きると考えているか</p> <p>② 令和3年度をもって、観光局の地方創生推進交付金が終了する。自立目標はどの程度達成できていると感じているか</p> <p>③ 一般社団法人という別人格を持つ「観光局」と「行政」との関係が財政的な部分で、いつまでも「行政によるテコ入れ」的に続いていると、本当の意味での「自立」は不可能と考えるがどうか</p>	40分